

登録コード	SGH10900	開講年度	2026					
授業題目	博物館実習Ⅱ					担当教員	加藤 千尋	
英文授業名	Practice of Museumology Ⅱ					副担当		
単位数	1	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学年	4年
講義室				授業形態	実習	遠隔授業科目	備考	博物館学芸員
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	受講生は館園実習に先立って、実習先博物館・美術館の事前訪問と収蔵物と過去の企画展等をリサーチしたうえでレポートを作成する。それを受けての指導と情報交換・議論を経て、受講生はそれぞれ館園実習に向かう（第1回～第9回）。実習終了後、受講生はグループ学習を通じて自身の実習を振り返り、その成果と反省点を発表用の資料として整理し、博物館実習Ⅰを履修中の3年次生を対象とした実習報告会において口頭発表を行う（第10回～第15回）。							
(5)授業のキーワード	人類知の継承と未来創造マインド 博物館 博物学 博物館法 生涯教育 博物館学芸員							
(6)授業計画	第1回：ガイダンス（実習および実習前・実習後の達成課題について） 第2回：実習先博物館の事前訪問 第3回：実習先博物館の収蔵物について（個別リサーチ） 第4回：実習先博物館の企画展等について（個別リサーチ） 第5回：実習先博物館についての報告（報告書の作成→提出） 第6回：自己点検①（レポートの作成→提出） 第7回：自己点検②（口頭報告→指導） 第8回：受講者全員による相互的な情報提供 第9回：受講生全員による注意事項の相互確認と議論→実習へ 第10回：実習報告資料の作成①（作成の要領と素材の準備について） 第11回：実習報告資料の作成②（個人による素材の整理） 第12回：実習報告資料の作成③（報告資料作成） 第13回：実習報告資料の作成④（報告資料作成→提出） 第14回：実習報告会（作成した資料を用い、実習予定者に向けて行う）第1部 第15回：実習報告会 第2部 第15回目に授業の最後の15分で授業アンケートを実施する。							
(7)成績評価の方法	受講の積極性（出席およびグループワーク等への取り組み）50%、各種レポート50%							
(8)成績評価の基準	実習のレポートと実習時の積極性を評価する。							
(9)事前事後学習の内容	レポート作成時に関連資料を自ら探すことが求められる。次回授業の内容について自ら資料にあたり、イメージを作りあげておくこと。							
(10)履修上の注意	博物館学芸員資格関連の他科目をすべて履修しておくこと。博物館を自主的に見学し、鑑賞経験を高めておくこと。							
(11)質問,相談への対応								
【教科書】	なし							
【参考書】	「学芸員の仕事」神奈川県博物館協会編 磐田書院							